

# 光といのち

第114号

—秋彼岸—

2018年9月10日発行

発行所

真宗大谷派勝善寺

〒299-2214

千葉県南房総市二部1344

電話 0470-57-2657

FAX 0470-57-2290

Eメール info@syozenji.or.jp

URL http://syozenji.or.jp/

住職 釋孝昌

病気になって

初めて

仏教の言葉が

心に響きました。

## 世の盲冥をてらすなり

題字下は、お盆に護持金を納めにご夫婦でいらっしやったご門徒の言葉です。今までは奥様がお一人で見えました。ご主人が寺を訪れたことは、私の知る限りありません。寺にはお墓はありませんし。

「お久しぶりですね」と挨拶すると、「実は長患いをしていました」そして「寺報に書いてあることが、病気になって初めてわかりました」と、笑顔で私に語りかけてきました。

親の葬式と法事でしか寺との関わりがない寺報にもほとんど関心が無かった方が、病気にあったことで初めて仏教にうなずけたのです。嬉しいことでした。

次も、お盆に来た女性のこと

です。高齢の認知症の母親と暮らしています。「長時間母親を一人にできないので」と言っていました。が、介護のこと人は死んでいくという話しに、しばらく花を咲かせました。

別れ際に「こんなことお坊さんにだから言えるんですよ」と。

どんな話だったかは想像してください。

これも嬉しいことでした。

やはり会社に勤めながら一人で年老いた母親を自宅で介護し

看取った男性から、「首を絞めたくなかったこともあった」と聞かされたこともありました。

次は七日参りに伺った時に、妻を亡くした初老の方が語った

ことです。

その男性は、若い頃は病気がちで胸が苦しくて寝床から起きられないことがたびたびあったのだそうです。

会社勤めをされていた奥様は、夫の苦しんでいる姿を見て、出勤する前に「大丈夫」と声をかけてくれたのだそうです。

本日は「大丈夫なわけないだろう」と言いたかったと回想され、「あの時妻は、俺のことを心配してくれていたのかねえ？」と、今更ながら自問するのです。

たまたまお内仏の脇に掛けてあった『法語カレンダー』に、「雑毒の善をもつて かの浄土に向かう 此れ不可なり」とありました。

「私たちの『善』には、自分の都合という毒が雑じつていますね」と、互いに顔を見合わせ大笑いしました。

最後は、ある石屋さんの言った言葉です。

墓造りの技にかけては譲らない職人です。以前にお墓を建てる費用を値切ろうとしましたが、無駄でした。

世間話をしている折に、「わか

らない人には、何を言ってもダメですよ」と。

ご自分の経験を話してくれたのですが、妙に私もうなずきました。

口を酸っぱくして聞法の大切さを言っているのに、なかなかお越しいただけませんよね。

こんな愚痴がすぐ出てしまう私ですが、坊守(妻)からは、「何回言っても悪い癖が直らないんだから！」と叱られます。

坊守にとっては、私が「わからない人」です。

その坊守も、私からすれば「わからない人」と言いたい。

## 秋彼岸法要

9月23日(日) 10時~11時30分  
どうぞ、ご予約ください。



五箇盆法要後の副住職法話風景です。

「勝善寺聞法会」でテキストとする『歎異抄 白日抄』は、「歎異抄」・「白日抄」付録で構成されています。

講師を務める副住職は、「今だからこそ新たに『歎異抄』を先学にあらずねながら読んでみたいと思う。」と申しております。

そこで、今まで読んだことの無い方にも「歎異抄」の魅力が伝わってくるこの文章を掲載しました。

暁烏敏師の「歎異抄講話」(『暁烏敏全集 第六卷』涼風学舎発行)の第一章緒言の一部です。

『真宗聖典』やテキストでは、「歎異抄」と標記していますが、ここでは「歎異抄」と標記されています。

ちなみに師がこの文章を書いたのは、満二十五歳、ただ、驚かされるばかりです。

## 第一項 『歎異抄』の世界的価値

一 私を他力の信仰に導いた書物の一つが、この『歎異抄』である。私をして弥陀の本願に帰せしめた書物の一つが、この『歎異抄』である。又私をして親鸞聖人の渴仰者たらしめた書物の一つが、この『歎異抄』である。

二 私が今日でも、悲しい事のある時、苦しい事のある時、心の鬱する事のある時

には必ず、この書を取りだして読むのである。故に私には、この『歎異抄』一部が、如来の御声ときこえるのである。佛教に沢山の經典がある。その中で最も私を感化し、又最も私を慰めてくるる聖典はこの『歎異抄』である。真宗に沢山の聖典がある、その中で最も私を導き、又最も私に安心を与ふる聖典はこの『歎異抄』である。私はこの『歎異抄』さへ一部あれば、他の一切の書籍、他の一切の聖典、他の一切の論釋はなくても差支がないのである。

三 私は大体が浮薄な性である故か、一部の書物を二度も三度も読んだことはないのであるが、この『歎異抄』のみは、浮薄なる私を浮薄ならざらしむるだけの大いなる力を有してをるのである。いかなる書物も二度と読まぬ私をして、二度も三度も五度も十度も百度も読むを喜ばしむるのが、この『歎異抄』である。この一点でも『歎異抄』がいかに大いなる威力を有し、妙味を有するかがわかるのである。

四 カント氏の『純粹理性批判』も立派な書物であらう、ダーウキン氏の『種の起源』も立派な書物であらう、ダンテ氏の『神曲』も立派であらう、ミルトン氏の『失樂園』も立派であらう、『ウパニシャッド』も結構であらう、『ゼンドアベスタ』も結構であらう、『コーラン』も結構であらう、『論

語』も結構であらう、『伝習録』も結構であらう、『言志録』も結構であらう、『四福音書』もありがたいであらう、『阿含經』もありがたいであらう、『法華經』もありがたいであらう、『維摩經』もありがたいであらう、『往生要集』も親切であらう、『選択集』も親切であらう、エピクテタス氏の『デイスコース』も面白いであらう、日蓮上人の『遺文録』も面白いであらう。然しです、私にはこれ等の種々の書籍は、譬へば星のやうな月のやうな光明を与へてくれましたが、この『歎異抄』は太陽のやうな光明を与へてくれました。故にこの『歎異抄』は一切の聖典の中で尤も立派なる、尤も結構なる、尤もありがたい、尤も面白い聖典である。私は思ひます。若し私をして、たゞ一冊の書物を携へて離れ島に行けと云ふ人かおるならば、私はカント氏の『純粹理性批判』も持ちません、ダーウキン氏の『種の起源』も持ちません、ダンテ氏の『神曲』も持ちません、ミルトン氏の『失樂園』も持ちません、『ウパニシャッド』も持ちません、『ゼンドアベスタ』も持ちません、『コーラン』も持ちません、『四福音書』も持ちません、『維摩經』も持ちません、『往生要集』も持ちません、『選択集』も持ちません、エピクテタス氏の『デイスコース』も持ちません、日蓮上人の『遺文録』も持ちません。私は

何は持たないでもこの『歎異鈔』を一部持ちさへすれば結構である。私の唯一の友はこの『歎異鈔』である。若しそれ、この『歎異鈔』を有するが為に、他の書物を捨てねばならぬやうなことがあるれば、私はこの『歎異鈔』一部のために他の総べての書籍を捨てても惜しくはないのである。

五 私と思ふ、日本で書かれた書物の中で世界に示して大いに光明ある書物はこの『歎異鈔』である。故にこの『歎異鈔』は真宗信徒のみの私すべき聖典ではない。日本国民のみの私すべき聖典ではない。私は遠からざる年の内にこの『歎異鈔』が世界全国の民に安慰と指導とを与ふるであらうと云ふことは信じて疑はない。

六 これくらゐ貴重なる聖典であるにも拘らず、今までの日本の国民はこの珍宝を有することさへも知らなかつたのである。今私がかゝるに喋々とこの書の功德を述ぶると、読者の或る人は奇異に感ずるであらう。何となれば読者の或る人は未だこの『歎異鈔』と云ふ聖典が日本にあると云ふことさへ知らない人があるかも知れぬ。又或る人は知つてはをれど今日までさほど結構な聖典であると思つてをらぬかも知れぬ。然し之は猫に小判である、盲人に鏡である。実になさけないことである。故に私はこれからこの聖典を諸君と共に、味はうて行きたいと思ひます。(明治三十六年一月四日稿)

### 勝善寺聞法会の講師を務めるに当たつて

副住職 井上泰之

本年三月、私は因縁によつて大学院を辞め、その傍ら勤めていた高校の非常勤講師を辞し、さらにある学舎も去つた。こんな愚鈍な私ではあるが、昨年は精神的にやられ、一時は精神科を受診していた。今は「あれもあれでよかつたな」とも思いつつ、野心にも溢れている。

この四月からは京都のとある仏教系の福祉施設に入職し、相談員として勤める日々を送っている。仕事のことはさておき、ここで直面したのは、如何に私が死に關して無知であつたかということである。その現場では日々利用者が亡くなつていく。利用者にも家族にも「看取りケア」と施設側は訴えつつ、それが「本当に看取りなのか」と疑問も抱く。有無を言わさぬ死の事実に対して、何とか最後の最期まで手を尽くそうとする実態がそこにはある。利用者が亡くなれば、一段落する職員、「お世話になりました」と顔をあげて言う家族、悲しみにくれ続ける家族がいる。一人ひとりの死の事実の受け取りは様々である。そのような様々な利用者・家族・職員がいる中で、「こ

の人の人生は何だつたんだらうな」と思うのである。

一応の仏教・真宗のことは大学院で学んできた。また偉そうにも中学生・高校生を相手に、「満足心」ということで宗教の授業もしてきた。宗教は机上の学ではなく、実践の学である。ところが実践の学と言いつつ、理論や理屈でいっぱいの私自身のようになっている。目の前に老病死の事実がありつつも身体は凝り固まり、日々の仕事に追われて大切なことを見失っているようにも思われてならない。そして自己の奥深くには、自我という癌で蝕まれていくように感じる。時々「あの人ならば」ということも考える。

この12月より新たな聞法会を行うことになった。今の私は求道・聴聞を遠ざけていく。一方で「聞かなくてはならない」とも思う。今は、ある医者、ある教育者、ある生活者、ある仏教者の本を読んでいく。それを読んでいくと、分野は異なるが、一つのことしか言っていないように思うのである。そこで、これまで私はともに『歎異抄』を読んだことがなかつたが、今だからこそ新たに『歎異抄』を先学にたずねながら読んでみたいと思う。

九月五日記す。

# 11月17日報恩講



職住善寺住職 眞海 眞しん  
港区了善寺住職 眞海 眞しん  
百々海 眞しん  
(どどみ しん)  
師にご法話を  
お願いしました。

## 一、当番地区 鋸南地区

### 一、準備 ※13時30分から

- ・役員会 10月10日(水)
- ・世話人総会 10月21日(日)
- ・仏具お磨き 11月12日(月)
- ・前日準備 11月16日(金)

### 一、法要

- ・速夜法要 11月16日(金) 準備終了後
- ・晨朝法要 11月17日(土) 6時30分〜
- ・日中法要 10時30分〜

役員・世話人・当番地区の皆さん・同朋の会の皆さん、準備・運営など、よろしくお願います。  
世話人総会後にあらためてご案内します。

報恩講厳修は、真宗門徒の責務です。一座以上、お参りください。

## 勝善寺聞法会

事情により「水島見一先生聞法会」は開催できなくなりました。心機一転、副住職が講師を務め、新たな聞法会を始めます。

7月の同朋の会の折に、水島見一先生を通して浄土真宗を聞法してきた副住職が講師を務めてはどうか、と意見がありました。

「私の聞法の場合は、我が寺である。我が寺において本当に満足する道を知りたい。ここに私が寺を担うということがある。」という前の聞法会開催に当たっての意欲を汲み取ろうということもあります。また、当寺所属のご門徒以外の方々に引き続き参加していただきたい住職の希望もあります。

しばらくは同朋の会を兼ねて、左記のとおり実施することになりました。  
テキストは、今までと同じ『歎異抄白日抄(直道学舎学習テキスト)』を使いますが、「歎異抄」の部分のみを取り上げます。

### 記

- 第1回 12月16日(日)
- 第2回 6月2日(日)
- 時間 14時〜16時
- 参加費 500円
- テキスト 1000円

## 千葉組親鸞教室

「和讃をいただく」というテーマで『真宗大谷派勤行集』掲載の和讃を取り上げていきます。本年度は「現世利益和讃」です。

講師は、海法龍先生です。申込みは、9月23日までに！

### 実施日と会場

- 10月1日(月) 千葉市浄願寺
- 12月4日(火) 船橋市阿弥陀寺
- 1月23日(水) 佐倉市重願寺
- 2月20日(水) 佐倉市了因寺
- 4月17日(木) 当寺
- 6月12日(金) 市川市即隨寺
- 時間 13時〜16時
- 参加費 1000円
- 住職がご一緒にします。

## 千葉組婦人研修会

女性のための聞法会です。不遠寺住職四衢亮(よつじ あきら)先生がお話しくださいます。

### 実施日

- 第1回 1月11日(金)
- 第2回 6月14日(金)
- 会場 市川市即隨寺
- 時間 13時30分〜16時
- 参加費 500円
- 坊守か住職と一緒にします。

## 定例法要

- ※10時〜11時30分
- 修正会 1月2日
- 春彼岸会 春分の日
- 孟蘭盆会 8月10日
- 秋彼岸会 秋分の日

## 毎週行事

- 月曜朝のお勤め 6時半〜
- 「正信偈」などの同朋唱和
- 「御文」拝読 三分間法話

## 勝善寺同朋の会

- 実施日と時間 14時〜16時
- 10月7日(日)
- 12月16日(日) 兼勝善寺聞法会
- 2月10日(日)
- 5月12日(日)
- 6月2日(日) 兼勝善寺聞法会
- 7月28日(日) 終了後に昼食
- 参加費 500円

## 地区聞法会

- 八日講十日講 9時〜11時
- 1月8日(火)
- 6月2日(日)

### 中佐久間講

- 5月9日(木) 13時半〜15時半

## 花まつり

- 4月7日(日) 13時半〜15時半
- ※子どもも大人も対象です。

仏教を聴聞したい方、どなたも様もお越しください。